

## ●乗り方・降り方●

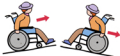
- 車いすに乗り降りする時やベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。(車いすが動き、転倒事故の原因となります)
- 車いすの乗り降りの際は、路面の平坦な場所で行ってください。(車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります)
- フットサポートの上に乗ったり、降りる時、上に立ち上がらないでください。(車いすがバランスを崩し、転倒事故の原因となります)

### 自分で動かす場合

- 走行する時  
ハンドリムのこぎ始めの位置は、ひじを軽く曲げ円を描くようにこぎます。
- 傾いた道の時  
傾いた側を入れ、車いすが道の低いほうへ曲がらないようにこぎます。普通のこぎ方で低いほうへ曲がってしまいます。



- 段差がある時  
段差の直前で停車し、段差に対して直角にキャストをあてます。体を前傾させ、おしりの位置を深くし、ハンドリムを強くこいで前進してください。  
※勢いよく段差に当たっても越えることはできません。



- 坂道の時  
坂道で上がる時は、前傾の姿勢で前向きに上り、下る時は前傾の姿勢でハンドリムでの回転で調整し、ブレーキをかけながら後ろ向きに下るのが基本です。



- 溝や踏切の時  
キャストや駆動輪の幅、直径よりも広い溝や踏切等を通過する時は、溝に対して直角に進入してください。直角でない場合、キャストや駆動輪が溝にはまって抜けなくなる恐れがあります。溝の手前でキャストを持ち上げ、通過する方法もあります。

- グレーチングの時  
グレーチング(側溝を埋める金網など)を通過する場合は、グレーチングに対し斜めに進行してください。

- 乗る時  
1. ブレーキを左右共ロックする。  
2. フットサポートを左右共上げる。  
3. 両手でアームサポートを持ちゆくり乗る。  
4. フットサポートを下げ足を乗せる。

- 降りる時  
1. ブレーキを左右共ロックする。  
2. フットサポートから足を降ろす。  
3. 両手でアームサポートを持ち、ゆくり立ち上がる。

### 介助者が動かす場合

- 走行する時  
介助者が車いすの手押しハンドルを握り、進行方向へ押します。急発進や急停止は非常に危険です。出発の合図や声をかけるなどの配慮をお願いします。



- 傾いた道の時  
傾いている側の手に力を入れ、車いすが低いほうに曲がらないようにして押します。普通の押し方では低いほうへ曲がってしまいます。



- 段差がある時  
段差の直前で停車し、手押しハンドルを引きながら、同時にティップインクレーパーを踏み、キャストを上げます。段差に車輪をあて、手押しハンドルを持って車いすを持ち上げ、段差を乗り越えてください。



- 坂道の時  
坂道では、前傾の姿勢で前向きで上り、後ろ向きで下るのが基本です。



- 溝や踏切の時  
キャストや駆動輪の幅、直径よりも広い溝や、踏切等を通過する場合は、直角に進入してください。直角でない場合、キャストや駆動輪が溝にはまり、抜けなくなる恐れがあります。溝の手前でキャストを持ち上げ、通過する方法もあります。

- グレーチングの時  
グレーチング(側溝を埋める金網など)を通過する場合は、グレーチングに対し斜めに進行してください。

## 村田家具

〒604-0966 京都市中京区夷川通富小路西入  
TEL 075-231-0638 Fax 075-255-6001  
E-mail: info@muratakagu.co.jp  
http://www.muratakagu.co.jp



## 株式会社美和商事

〒541-0053 大阪市中央区本町4-5-6 永光ビル403-2号  
TEL (06) 6271-8020 FAX (06) 6271-8088  
介護事業部 / TEL (06) 6271-6055

0120-955-780 (10:00~17:30 / 土日祝祭日は除く)